

# 平成26年度特色ある学校づくり報告

## 1 事業の概要（事業費合計 45万3千円）

- ①進路体験ツアー（1学年）
- ②インターンシップ（2学年）
- ③難関検定試験対策ゼミ（希望者対象）



## 2 事業の成果

○自信と誇りをもって社会へ送り出すための教育の推進

- ①進路体験ツアー（自己実現の意識醸成のための上級学校・企業訪問）

1学年生徒全員が希望する5コースに分かれて①足利工業大学・佐野短期大学，②平成国際大学・東京IT会計法律専門学校大宮校，③宇都宮共和大学・大原学園宇都宮校，④つくば学院大学・つくばビジネスカレッジ専門学校，⑤常磐大学・短期大学・八文字学園を見学した。

- ②インターンシップ（勤労観・職業観・人間関係形成能力育成のための就業体験）

「自信と誇りをもって社会へ送り出すための教育の推進」として，2学年就職希望生徒83名が勤労観・職業観・人間関係形成能力育成のための就業体験を29か所の企業で行った。



○KCレンジャー養成プロジェクトの推進

- ③将来のスペシャリスト養成のための難関検定対策ゼミ

「日商簿記検定2級」と「ITパスポート」の資格取得希望者に対して，外部講師による講座を開講した。その結果，「日商簿記検定2級」で2名，「ITパスポート」については3名の合格者を出すことができた。また，ITパスポートは，春季休業中に更に39名が受験予定である。



## 3 担当者の意見

進路体験ツアー

- ・1年生ということもあり，まだ進路が明確でない中，漠然と「就職」・「進学」とイメージしていた生徒たちにとって，大学・専門学校を見たことによって，自分のなりたい職業に就くためには，何が必要かと言うことを考えさせる契機になった。
- ・大学と専門学校の両方を見学・体験したことで，それぞれの魅力や学習内容について比較検討することができた。そこから自分にはどちらの学校が向いているか考える一助となった。
- ・狭い生活圏内で行動している生徒たちにとって，遠方の学校を見学したことで視野が広まり，新しい価値観を持ち，行動半径を広げようと思わせる契機となった。



インターンシップ

- ・以前は2学年生徒全員で実施したこともあったが，与えられた体験となるためか，意欲の高くない生徒に就業体験させることの弊害も見受けられた。今回は就職を希望する生徒全員を対象としたことで事前指導も充実し，自分たちの実習態度が次年度の求人にも影響してくる等の指導を行い，生徒は真剣に実習を行うことができた。



難関検定試験対策ゼミ

- ・大変わかりやすい説明で，教科指導をする上で参考になった。
- ・今年度は受験者数を増やすことができたので，受験日まで更に学習を継続させ一人でも多くの生徒を「ITパスポート」に合格させたい。